



平成23年度講演会

11月1日(火)、当協議会主催の講演会を千葉市生涯学習センターの大研修室を会場に、一般公募の市民を含め72名の参加を得て開催しました。

今回は、ことわざ研究の第一人者としてご活躍されております千葉市出身の時田昌瑞様をお招きしての開催でした。当日は、ことわざに関する貴重な資料もお持ちいただき、会場に展示させていただきました。

なお、今回の公演会は今年の3月13日に実施を予定しておりましたが、3月11日に発生しました東日本大震災の影響により中止となったもので、講師のご協力によりまして実施したものであります。



千葉市生涯学習センター

○ 講演会

14:00～16:00

- ・テーマ 芸術としてのことわざ世界
- ・講師 時田 昌瑞 氏 (いろはカルタ・ことわざ収集・研究家)
(日本ことわざ文化学会理事)
(明治大学ことわざ学研究所客員研究員)

1 講演会報告

「芸術としてのことわざ世界」の講演を聞いて

増田学園図書館長 南波 省吾



講演中の時田氏

平成23年度千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、ことわざ研究家で明治大学ことわざ学研究所客員研究員の時田昌瑞先生をお招きして「芸術としてのことわざ世界」という大変興味深い分野のお話を伺った。3月の大震災時の開催予定の講演会だったが、半年の時期をみて今回の開催に至った。満を持しての講演会で、会場は満員で大変盛況だったことが何より嬉しいことである。

私は国語科教員として日頃から授業の中で、ことわざや故事成語を使って説明したり、紹介したりしている。その由来や本来使われるべき適切な活用法など、文字通りの教科書にそったものの説明で終わっているが、今回時田先生の講演を拝聴することで、少しでも生徒達に興味を抱かせるヒントが得られればと楽しみであった。

まず先生は「ことわざとは？」ということで、広辞苑の説明を紹介された。古くから人々に言い慣わされた教訓や風刺の意を寓した短歌や秀句がもとであるということだったが、昨今でも次々と新しいことわざが生み出されているという現実があり、ことわざの定義はとても難しいものであるということをお話された。次々と生み出されるのだからその数も膨大である。ことわざの古くは4000年前にまで遡ることができる。4000年間という長い歴史で連綿と受け継がれてきたからこそ、その魅力があるということである。

次に先生は「ことわざの魅力？」ということをお話になった。元来ことわざは、絵画的なオブジェとしての役割があった。絵画的であるからこそイメージを喚起しやすく、絵画や種々の物品に表現される。語句が短く、リズムカルなので耳に残りやすく、表現が具象的なので、面白く技巧に富んでいるものがことわざである。確かに何かを示唆させる教訓は、老若男女を問わず理解しやすいものでなくてはならない。また、このことわざの面白い技巧は、言語芸術でもあろう。



講演会の様子

先生のお話は「言語芸術としてのことわざ」という展開になった。ことわざを言語芸術と捉える次の十項目を挙げ、「着想の奇抜さ・表現の意外性」、「誇張」、「押韻・同音反復」、「ことば遊び」、「反意語の組み合わせ」、「洒落」、「イメージの喚起」、「人名化」、「掛詞」、「列挙法」のご説明になった。

「着想の奇抜さ」という点で、“へそで茶をわかす”ということわざとその絵（川鍋暁斎『狂斎百図』）を御紹介下さった。この絵には他に“親のすねかじり”なども描かれており、絵画のテーマとしてことわざが活かされていることを知った。「ことば遊び」という点で先生は、“犬が西向きゃ尾は東”や“目は二つ鼻は一つ”のように当たり前なことを口にするのがことば遊びの面白さだということもご説明された。また、近年の流行語もある一定期間使われ続けたのならことわざに含めても良いのではないだろうか、ということもビートたけし氏の「赤信号、みんなで渡れば怖くない」を引き合いに出されてご説明になった。ことわざは時代時代に即して使用されるので、まるで生き物と同じということも意味深く面白い。



講演会会場での展示物

先に紹介された絵と併せて、お持ち頂いた資料の解説をなされた。例えば、“獅子の子落とし”“虎の子落とし”に関する資料は各所に残っていて、掛け軸だったり、石造物だったり幅広く採用されているということだった。これらの伝播の仕方から察すると、中国の故事であったり、信仰と共に広まったことわざと見ることができるということである。同じ様に動物ことわざに注目すると、“猿猴が月”や“瓢箪から駒”などは日本画の画材として多用されているということもあり、根付けや刀の鏢、鎧の模様等の武具にも用いられているのが大変興味深かった。

最後に先生は、これほど興味深い資料が多数残されているのに、未だ日本の美術史の中には、ことわざ画が含まれていないのが大変残念であるというお話をされて講演をまとめられた。ことわざを文化・芸術と捉えるならば、当然美術史の中でも研究されなければ理に合わないと私自身もつくづく感じた。本来芸術は生活に根付いた上で発展し密着してきたものだ。そう言う意味では「ことわざ」こそ「芸術」である。大変勉強になった講演会だった。

「加盟館紹介展」を実施しました！！

事務局

「千葉市図書館情報ネットワーク協議会」について千葉市民に知ってもらい、加盟館を市民に利用してもらうことを目的に、平成18年度から「加盟館紹介展」を実施しています。

今年度は、10月29日（土）～11月8日（火）の期間、千葉市生涯学習センター1階のアトリウムガーデンを会場として実施しました。今回で6回目とあって、どの館も趣向を凝らした掲示物が多く見られ、自館の紹介に力を入れていました。また、見学者も年々多くなってきており、用意された資料もすぐなくなり、追加で取寄せるという盛況ぶりでした。

加盟館の説明

- ・加盟館概要
- ・加盟館マップ
- ・加盟館一覧

加盟館の紹介パンフレット等



加盟館紹介展の全景



一般の利用者への説明

敬愛大学・千葉敬
愛短期大学メディ
アセンター

淑徳大学附属図書
館千葉図書館

植草学園大学
図書館



千葉大学附属図書館

千葉経済大学総合
図書館

東京情報大学情報サ
ービスセンター

神田外語大学附属
図書館

千葉明德短期大学
図書館

東京歯科大学
図書館





放送大学附属
図書館

放射線医学総合
研究所図書館

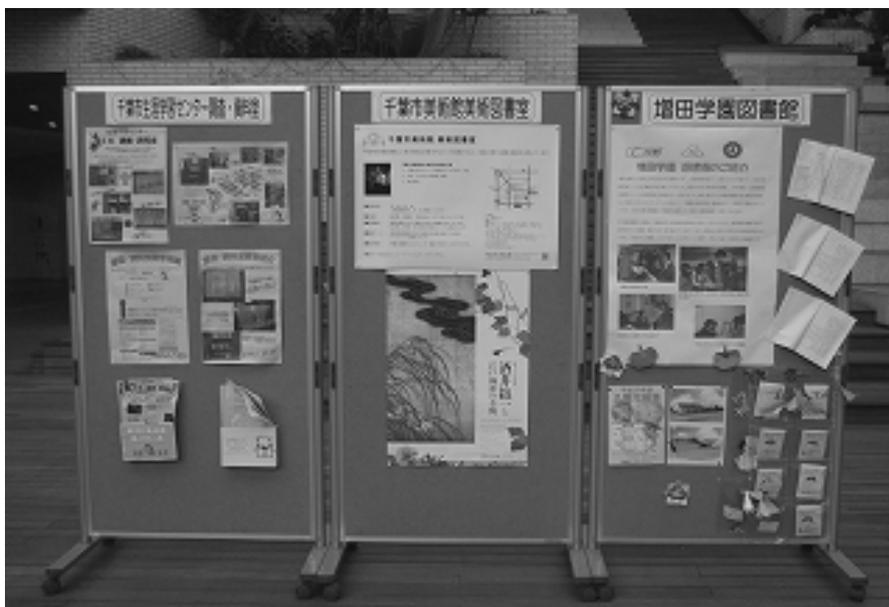
日本貿易振興機
構アジア経済研
究所図書館



千葉県教育センタ
ー図書資料室

千葉県議会図書室

千葉市中央図書館



千葉市生涯学習
センター調査・
資料室

千葉市美術館
美術図書館

増田学園図書館

千葉県立保健医療大学
図書館

千葉県立中央図書館



千葉市花見川
図書館

千葉市若葉図書館

千葉市美浜図書館
打瀬分館

千葉市みやこ図書館

千葉市稲毛図書館

千葉市緑図書館





千葉市図書館の配置図
 千葉市図書館の利用の
 仕方

汚損・破損本の展示
 修理の道具と説明
 図書館からのおねがい



加盟館だより 

《新加盟館の紹介》

増田学園 図書館の紹介

増田学園図書館長 南波 省吾

増田学園は、終戦後の 1947 年に千葉市椿森町（現中央区椿森）の地に千葉洋裁学院として設立したのが始まりです。その後 1957 年に増田学園として千葉女子専門学校を、1973 年には同附属幼稚園（現附属聖幼稚園）を美浜区に設立、1979 年には中央区道場北に千葉聖心高等学校（普通科女子）を設立しました。現在は専門学校も中央区道場北に移転し、女子教育と幼児教育を柱とした学園として、その使命に力を注いでいます。増田学園図書館は、この 2 校 1 園（来年度は保育園も開園予定）の図書館の総称です。

専門学校は、かつては家政科と保育科を設置していましたが、現在は保育科のみに絞り、文部科学大臣指定幼稚園教諭養成校、厚生労働大臣指定保育士養成校として高い評価のもと、優秀な保育士・幼稚園教諭を輩出すべく、道徳教育を建学の基本理念とし、長年培った経験と実績を基に、優れた幼児教育者と社会福祉従事者の育成・教育に取り組んでいます。それだけに大変真面目な学生が多いのも特徴です。

高等学校は、「聖心（清らかな心で他を思いやること）・努力（目標の実現に向け、何事にも真剣に取り組むこと）・奉仕（相手の身になって考え、互いに助け合うこと）」を建学の精神とし、教育目標は「1 確かな学力を身に付けた、行動力のある女性の育成、2 豊かな心と礼儀正しい自立した女性の育成、3 学校・保護者・地域の連携から育まれる豊かな表現力の育成」で、特進クラス・進学コース・こども保育コース・総合コースという特色あるクラスで和気藹々と3年間を過ごしています。

幼稚園は、「かしこく たくましく 心健やかな子」をモットーに、好きな遊びを十分に行い、自己を発揮する、心身ともに健やかに過ごし、優しさを身につける、気持ちを伝え合える、心地良さを体験する教育を実践しています。また、来年度よりひじり保育園を開園予定です。

図書館全体の特徴は、絵本や児童書、教育関係書籍が多いことです。殊に専門学校の図書コーナーには、歴代の先生方の収集なさった貴重な本や海外の資料も充実しています。高等学校の図書館には、こども保育コース在籍の生徒向けのみならず、多くの生徒が読めるように絵本がたくさんあります。絵本を読み慣れることは、想像力や知性を豊かにするだけでなく、近い将来、母親になった時の子育てに充分役に立つはずです。そういう意味も込めて絵本の選書をしております。また、映像資料も豊富で、邦画洋画のDVDが300タイトル以上あり、昼休みや放課後に自由に鑑賞でき、これを楽しみに来館する生徒も多いほどです。残念ながら本図書館は一般開放しておりませんので、皆様にお楽しみ頂くことはできませんが、千葉県図書館情報ネットワーク協議会をはじめ、地域にひらかれ貢献できる図書館を目指し、皆様のご意見を伺いながら、充実した図書館運営をして参ります。

増田学園 千葉女子専門学校

〒260-0006 千葉市中央区道場北 1-21-21
電話 043-226-1252 FAX 043-226-8125

増田学園 千葉女子専門学校附属聖幼稚園

〒261-0004 千葉市美浜区高洲 2-3-24
電話 043-245-0626 FAX 043-245-0626

増田学園 千葉聖心高等学校

〒260-0006 千葉市中央区道場北 1-17-6
電話 043-225-4151 FAX 043-227-7278



図書館で閲覧中の生徒

~~~~~

◇千葉市図書館情報ネットワーク協議会ホームページ

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ccal/index.html>

Network通信 No.35

2012年1月31日

発行：千葉市図書館情報ネットワーク協議会

事務局：千葉市中央図書館内

〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7

Tel 043-287-4081

Fax 043-287-4074